



報道関係各位

2014年2月24日
ゾエティス・ジャパン株式会社

ゾエティス社 2013 年第 4 四半期および通年業績の報告

■この資料について

この資料は米国ゾエティス社が 2014 年 2 月 11 日（米国現地時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳再編集し、皆さまのご参考に供するものです。正式言語は英語であり、その内容及び解釈については英語が優先します。

尚、詳細な記述は下記サイトから原文をご参照ください。

<http://news.zoetis.com/press-release/investors/zoetis-reports-fourth-quarter-and-full-year-2013-results>

<報道関係の皆さまからのお問い合わせ先>
ゾエティス・ジャパン株式会社 野川真義
TEL : 03-5309-7258/ FAX : 03-5309-9914
E-mail : motoyoshi.nogawa@zoetis.com

報道問い合わせ先：
Bill Price
1-973-443-2742 (o)
william.price@zoetis.com

投資家対応：
Dina Fede
1-973-443-2969 (o)

Elinore White
1-973-443-2835 (o)
elinore.y.white@zoetis.com

John O'Connor
1-973-822-7088 (o)

ゾエティス社 2013 年第 4 四半期および通年業績の報告

- 2013 年第 4 四半期の売上高は、前年同期比 7%増の 12.5 億ドルであった。
- 2013 年第 4 四半期の報告ベース純利益は、1 億 500 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 0.21 ドルであった。
- 2013 年第 4 四半期の調整後純利益は 1 億 8,000 万ドル、調整・希薄化後 1 株当たり利益¹は 0.34 ドルであった。
- 2013 年通年について、売上高は前年同期比 5%増の 45.6 億ドル；調整後の純利益は 7 億 900 万ドルまたは調整・希薄化後 EPS¹は 1.42 ドルと、それぞれ 32%と 31%成長した。
- 同社は、2014 年通年の売上高見通しを 46.5～47.5 億ドル、調整・希薄後 EPS¹を 1.48～1.54 ドルに設定した。

2014 年 2 月 11 日、ニュージャージー州フローハムパーク発—ゾエティス社 (NYSE: ZTS) は本日、2013 年第 4 四半期および通年決算を発表した。当社の発表によれば、第 4 四半期決算の売上高は前年同期比 7%増の 12.5 億ドルであった。売上高には為替によるマイナスの影響が 2%あり、実質ベース²では 9%増となった。

2013 年第 4 四半期の純利益は、1 億 500 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 0.21 ドルであった。2013 年第 4 四半期の調整後純利益¹は 1 億 8,000 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 0.36 ドルだった。2013 年第 4 四半期の調整後純利益¹は、パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用および一部の重要項目による正味の影響 7,500 万ドル（希薄化後 1 株当たり 0.15 ドル）を除外している。

2013 年通年について、当社は前年比で 5%増の 45.6 億ドルの売上高を上げた。この売上高には、為替によるマイナスの影響が 2%あり、実質ベース²では 7%増となった。

2013 年通年の純利益は 5 億 400 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は前年比 16%増の 1.01 ドルであった。2013 年通年の調整後純利益¹は 7 億 900 万ドル、希薄化後 1 株当たり利益は 1.42 ドルであり、前年比でそれぞれ 32%増と 31%増となった。2013 年通年の調整後純利益¹

は、パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用および一部の重要項目による正味の影響 2 億 500 万ドル（希薄化後 1 株当たり 0.41 ドル）を除外している。

経営陣からのコメント

「2013 年に当社は、新たな公開会社としての地位を確立し、財務上の目標を達成し、顧客との約束を果たし続けました」とゾエティス社最高経営責任者ホアン・ラモン・アレクスは述べた。「当社の 2013 年業績および 2014 年の見通しは、市場の成長と同等もしくは上回る速度で売上高を伸ばし、売上高を上回る速度で調整後純利益を成長させ、顧客、社員および株主にとっての価値を高めるといふ当社の長期的目標を裏付けています」

「当社は、米国、欧州連合およびニュージーランドの獣医師向けの APOQUEL[®]のように、多様なポートフォリオを拡大、承認を獲得し、顧客にとって重要な新製品の提供を続けていきます」とアレクスは述べた。「当社は、ファイザーからの分離を成し遂げる一方で、全世界で信頼のおける高品質な製品を提供し続けました。当社は、会社を立ち上げ、成長戦略を実現するにあたり、重要なマイルストーンを実現し続けてもいます。ゾエティス社員の顧客に対する献身的態度と、アニマルヘルスにおける世界的リーダーとしての当社レガシー（後に受け継がれていくもの）への貢献を非常に誇りに思っています」

「私は、公開企業としての初年度の業績およびインフラ構築の進捗状況に非常に満足しています」とゾエティス社上級副社長兼最高財務責任者リック・パッソフは語った。

四半期ハイライト

ゾエティス社は、その事業を米国（U.S.）、欧州/アフリカ/中東（EuAfME）、カナダ/ラテンアメリカ（CLAR）およびアジア/太平洋（APAC）の 4 地域の事業区分に分割して組織し、運営している。当社は上記の各地域において、地域動向と顧客のニーズに合わせて、畜産・コンパニオンアニマル向けの多様な製品ポートフォリオを提供している。

2013 年第 4 四半期の業績

- ・米国の売上高は、前年同期比 7%増の 5 億 1,600 万ドルであった。畜産向け製品の売上高が 8%増加した要因として、牛、鶏、豚があげられる。今四半期の牛向け製品の売上高は、市況の改善により大幅に伸張した。一方、豚向け製品と鶏向け製品は、新製品の継続的成長の恩恵を受けた。コンパニオンアニマル向け製品の売上高は 5%増加した。

- ・欧州/アフリカ/中東の売上高は、実質ベースで同 9%増の 3 億 3,000 万ドルであった。畜産向け製品の売上高は、実質ベースで 9%増であった。この売上高の増加は、とりわけドイツおよびロシアにおける豚および鶏向け製品の販売の増加を反映したものである。コンパ

ニオンアニマル向け製品の販売は実質ベースで9%増となり、当四半期も第三者製造契約に関連する売上高の伸びによる恩恵を受けた。当該販売を除くコンパニオンアニマル向け製品の販売は、実質ベースで5%増であった。

・カナダ/ラテンアメリカの売上高は、実質ベースで同8%増の2億2,300万ドルであった。畜産向け製品の販売は、ブラジルを中心とする牛向け製品が要因となり、実質ベースで7%増となった。また鶏向け製品の販売も、主にブラジル、南ラテンアメリカにおける飼料添加剤の伸びにより増加し、豚製品は、同地域における予防接種製品、抗感染薬および飼料添加剤が成長を押し上げた。コンパニオンアニマル向け製品の販売高は、カナダおよびブラジルにおける販売が増えたことにより、実質ベースで14%増となった。

・アジア/太平洋の売上高は、実質ベースで同14%増の1億8,500万ドルであった。畜産向け製品の販売は、インド、日本および中国における豚、鶏および牛向け製品が主に牽引役となり、実質ベースで16%増となった。コンパニオンアニマル向け製品の販売は、畜馬用製品の減少を受け、減少し、8%増であった。コンパニオンアニマル向け製品の成長は、新製品の継続的な導入により、日本がけん引役となった。

ゾエティス社は、ブランドライフサイクルマネージメント、強力な顧客との関係、ならびに新たな市場と技術を活用して引き続き需要を喚起し、多様な製品ポートフォリオを強化している。当社は既存の製品ラインの効能の改良、製品供給先の拡充、各畜種における製品適応症の拡大、新たな販売地域における承認の取得に重点的に取り組んでいる。最近のハイライトの一部を紹介する。

- ポートフォリオ市販地域の拡大 - ゾエティス社は、主要製品の市場への販売拡大、新処方への適用拡大となる承認を引き続き受けている。例えば、豚向け製品においては、FOSTERA™ PRRS ワクチンが、第4四半期に韓国、タイおよびメキシコで承認を受け、2012年の導入以降、6ヶ所の市場で現在入手可能である。FOSTERA™ PRRS は、家畜の健康や繁殖能力を損なう可能性のある豚の繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）ウィルスに関連付けられている呼吸器疾患の予防に役立つ。鶏向け製品において、当社のPOULVAC® ワクチンの製品ラインは、ラテンアメリカおよび欧州全域の市場において引き続き承認を受けている。これらのワクチンは、マレック病、ニューカッスル病、サルモネラ、感染性気管支炎、感染性ファブリーキウス嚢病などの多くの一般的な病気の撲滅に役立つ。
- 継続的イノベーション - ゾエティス社は、市場のアンメットニーズに対処する、または獣医師の治療に対するアプローチを改善するイノベーションを通じて、アニマルヘルス

科学の前進を続けている。第4四半期には同社は、豚向けの新たなコンビネーションワクチンである FOSTERA™ PCV MH について米国の規制当局の承認を受けた。これは、2回投与の柔軟性と、1ボトル・単回投与という利便性を提供する初めてのワクチンである。APOQUEL®（オクラシチニブ錠剤）は、第4四半期に米国において早期体験プログラムを無事に完了し、米国、英国、オーストリアおよびドイツにおいて1月に全面的に発売された。今後、その他の市場でも発売される。APOQUEL®は、月齢12ヵ月以上の犬のアレルギー性皮膚炎に伴う掻痒の抑制、ならびにアトピー性皮膚炎の抑制用として承認を受けている。

- 新たな疾病への重点的な取り組み - ゾエティス社はまた、研究開発における専門知識を生かして新たな疾病対策にも取り組んでいる。同社は最近、米国におけるブタ流行性下痢ウイルス（PEDv）の抑制に役立つワクチン候補を特定、試験するためのアイオワ州立大学（ISU）との研究パートナーシップを発表した。ゾエティスはまた最近、鶏の伝染性気管支炎の条件付きライセンスワクチンである GA08 を米国で初めて発売したことを発表した。

財務見直しおよびコメント

ゾエティス社の2014年通年の見直しには、ポートフォリオの多様性と事業モデルの強固さへの当社の自信と、今年のアニマルヘルス向け製品の市況変化の状況に関する見解を反映している。

ゾエティス社は、1月末の外国為替レートを反映して、2014年通年の財務見直しを提供した：

- ・売上高は、46.5億～47.5億ドル
- ・報告値ベースの通年の希釈後EPSは、1株当たり1.15～1.21ドル
- ・通年の調整・希釈後EPS¹は、1株当たり1.48～1.54ドル

支出や税率など、その他の項目に関する追加見直しについては、財務表に記載するとともに、当社の電話会議において論じられる。

ウェブキャスト&電話会議の詳細

ゾエティス社は、本日午前8時30分（東部標準時間）にウェブキャスト/電話会議を開催する。本会議では、当社幹部が第4四半期および通年決算を報告し、2014年財務見直しについて議論し、財務アナリストからの質問に回答する。投資家と一般の方々には、当社ホームページ <http://www.zoetis.com/events-and-presentations> からライブウェブキャストにアクセスすることができる。ウェブキャストについてはアーカイブに保存し、2014年2月11日から

再生による閲覧が可能になる。

ゾエティス社について

ゾエティス社は、顧客とそのビジネスをサポートすることに尽力している大手アニマルヘルス企業である。ゾエティス社は、60年以上に及ぶアニマルヘルスにおける歴史を有しており、診断製品、遺伝子検査と共に動物用ワクチン/医薬品の発見、開発、製造、販売を行い、多彩なサービスも提供している。2013年の年間売上高は46億ドルであった。2014年初頭の時点では全世界で約9,800人の職員が勤務しており、11カ国28個所の製造拠点を含め、約70カ国で事業を展開している。当社の製品は、120カ国で獣医師、畜産業者および家畜やコンパニオンアニマルを飼育する人々に提供されている。当社の詳細については、www.zoetis.com をご参照ください。

¹ 調整後純利益および調整・希薄化後1株当たり利益（非GAAPベースの財務指標）とは、ゾエティス社に帰属する報告ベースの純利益および希薄化後1株当たり利益（パーチェス法による会計処理調整、買収関連費用および一部の重要項目を除く）を指す。

² 実質ベースの売上高の伸びとは、為替の影響を除く売上高成長率を指す。

情報開示に関する注意事項

将来の見通しに関する記述：本プレスリリースは、ゾエティス社の事業計画もしくは見通し、将来の業務上もしくは財務上の業績、およびその他の将来の事象に関する現時点における当社見解を反映した将来の見通しに関する記述を含んでいる。これらの記述は、将来の業績を保証するものではない。将来の見通しに関する記述は、リスクや不透明性による影響を受ける。これらの一つまたは複数のリスクもしくは不透明性が現実のものとなった場合、あるいは経営陣による基礎的前提が誤りであることが判明した場合、実際の業績は将来の見通しに関する記述に記載された内容と大きく異なるものとなりうる。将来の見通しに関する記述は、あくまで本文書の作成時点における記述である。ゾエティス社は、新たな情報、将来的な事象もしくはその他のいずれかの結果を問わず、将来の見通しに関する記述を更新または改訂する義務を明示的に放棄する。リスク、不透明要因およびその他の事項に関する詳細なリストおよび記述については、四半期報告書（書式10-Q）および最新報告書（書式8-K）に記載のセクション「Forward-Looking Information and Factors That May Affect Future Results（今後の業績に影響を与える将来の見通しに関する情報および要因）」およびセクション「Item 1A. Risk Factors（第1A項：リスク要因）」を含め、書式10-Kの2012年12月31日までの当社年次報告書を参照されたい。これらの報告書類およびその後の報告書類については、ホームページ www.sec.gov、www.zoetis.com からオンラインで参照するか、もしくはゾエティス社に要請して入手することができる。

非GAAPベースの財務指標の使用: 当社は、当社の業績および動向の査定および分析して、財務上および業務上の決定を下すために、調整後純利益および調整・希薄化後1株当たり利益などの非GAAPベースの財務指標を使用している。これらの非GAAPベースの財務指標は当社の業績に関する透明性を高めるものであり、したがって投資家にとっても有益であると考えます。本プレスリリースに記載する非GAAPベースの財務指標は、GAAP基準で義務づけられる指標（純利益、営業利益および1株当たり利益など）に代わるものとみなしてはならず、また流動性の指標とみなしてはならない。これらの非GAAPベースの財務指標は、他社が提示する非GAAPベースの財務情報と同等のものではないと考えられる。非GAAPベースの財務指標およびGAAPに基づく財務指標の調整については、本プレスリリースに添付の表に記載し、www.zoetis.comに掲載する。

情報のオンライン掲載: 当社は、投資家にとって重要な意味を持つ可能性のある情報を当社ウェブサイト www.zoetis.com の「投資家」コーナー、当社の Facebook ページ <http://www.facebook.com/zoetis>、および Twitter アカウント [@zoetis](https://twitter.com/zoetis) で定期的に公表している。当社は、投資家および潜在的投資家らが、当社のウェブサイトを定期的に閲覧し、または、Facebook や Twitter でフォローし、当社に関する重要な情報を入手することを奨励している。